

スポーツひろば

クロスカントリー競争大会

主催：ほうきスマイリースポーツクラブ／後援：体験の風をおこそう運動推進委員会／協力：伯耆町スポーツ推進委員協議会

コロナ禍でのスポーツ活動として、子どもたちに屋外を思い切り走ってもらおうという趣旨のもと10月30日（日）、クロスカントリー大会を開催しました。



この大会は伯耆町内の幼児を対象とし、スポーツ公園の芝生広場・ちびっこ広場内コースを会場にした「かけっこ競走」の大会です。今年で2回目の開催となり、29名の参加がありました。選手はさわやかな秋晴れのなか芝生のコースを気持ちよさそうに走り、見守る保護者からは大きな声援がとびました。

参加選手の中田望睦さんは「とても楽しかった。来年も連覇したい」。藤井惇青さんは「楽しかったし、自信になった」との感想。入賞者はつぎのとおりです。

- ▶ 年中女子の部【400m】 第1位：安達佳奈 第2位：岩崎 絢 第3位：西村友奈
- ▶ 年中男子の部【400m】 第1位：木村 岳 第2位：門脇凜采 第3位：仲田昊泰
- ▶ 年長女子の部【500m】 第1位：田中千尋 第2位：松本沙幸 第3位：坂本風花
- ▶ 年長男子の部【500m】 第1位：中田望睦 第2位：川上弘翔 第3位：藤井惇青

問い合わせ先 総合スポーツ公園 TEL 0859-68-3775

和牛農家さん
応援コラム

栄冠目指して



第12回大会マスコットキャラクター
かごうしまま

～和牛オリンピックが閉幕しました～

10月6日（木）から5日間にわたって開催された和牛のオリンピックとも呼ばれる全国和牛能力共進会（以下、全共）が、同10日（月）に閉幕しました。今年は41都道府県から過去最多の438頭が出品され、それぞれの出品者が日本一を目指し戦いました。

伯耆町からは種牛の部10頭、肉牛の部2頭の計12頭が出場しました。3回以上の出産経験がある雌牛を3頭1組で審査する第4区、3代の雌牛を評価する第5区とともに全国5位を獲得し、7つの区で優等賞を得るなど、優秀な成績を収めました。

全共で「花形」とされる種牛と肉牛を総合的に審査する第6区では、鳥取県が次期エースと位置付ける種牛「元花江（もとはなえ）」を父に持つ子牛7頭で挑みました。前回大会で鳥取県は肉質1位と評価されたことから今回も大きな期待を寄せられていた部門でしたが、今大会は総合評価全国10位となりました。

次回大会は5年後に北海道での開催。鳥取県の新たな和牛たちが北海道でどのような姿を見せるのか、今から楽しみです！



審査の様子



優等賞の証・紫の飾りを付けた5区の和牛と出品者

区分		鳥取県結果
第1区	若雄	優等賞4位
第2区	若雌の1	1等賞1位
第3区	若雌の2	優等賞9位
第4区	繁殖雌牛群	優等賞5位
第5区	高等登録群	優等賞5位
第6区	総合評価群	優等賞10位
第7区	脂肪の質評価群	優等賞6位
第8区	去勢肥育牛	2等賞
特別区	高校及び農業大学校	優等賞8位